

多摩大学アジアダイナミズム済州島研修視察 2024

An Activity Report of the Educational Visit to Cheju Island in Tama University Asia Dynamism Program 2024

趙 佑鎮	Woojin CHO ¹
小林 英夫	Hideo Kobayashi ²
バー トル	Bateer ³
新西 誠人	Masato Shinnishi ⁴
諸石 安美	Yasumi Moroishi ⁵
川手 雅人	Masahito Kawate ⁶
盛満 侑介	Yusuke Morimitsu ⁷

1. 研修の目的

現代の産業界が最高学府である大学に望むものは、時代の課題をビジネスの現場で解決できる問題解決力をもった人材の育成と、アジア・ユーラシアダイナミズムというパラダイム転換の時代を創造する志や、「地政学的知」を身に付けた人材の育成である。また、多摩大学の基本理念の一つに「国際性」がある。これら大学に課せられた使命から多摩大アジアダイナミズム韓国済州島研修として隣国である韓国において、世界の 61 カ国 4200 人が集った「第 19 回済州平和フォーラム 2024」(5 月 28 日(火)～5 月 31 日(金))に参加した。参加学生は、東アジアの平和と繁栄を促進するための各国トップによる基調講演、ディスカッションなど、多国間対話と世界のビジネス最前線を肌で感じ、国際関係とビジネスICTへの深い洞察を、アジアの協力と発展についての知見を深めることができる。9 回目の今年は、2024 年に引き続き済州平和研究院訪問視察、済州漢拏大学との学生交流会を開催した。また、高大連携の一環として多摩大学附属聖ヶ丘高等学校の生徒と、多摩地域のアクティブシニアを支援するジェロントロジー企画の一環として社会人が参加した。本研修は参加および課題を提出することにより Study Abroad 科目として単位認定される。

2. 研修先

- ① 済州国際会議場 International Convention Center Jeju (ICC JEJU) <http://www.iccjeju.co.kr/>

3. 宿泊先

- ① ブヨンホテルアンドリゾート済州 (Jeju Booyoung Hotel & Resort)(2024 年度一部教員2・3日目)
<http://www.booyoungjejuhotel.com/>
② 済州漢拏(ハンラ)大学ホテル(全員:2024 年度 1 日目) ③ YOU&US ホテル(学生及び教職員:2024 度 2-4 日目)

4. 参加者 ①内は女子

経営情報学部学生 31 名 1 年次 11(0)名・2 年次生 9(2)名・3 年次生 10(0)名・4 年生 4(1)年生

-
- 1 多摩大学経営情報学部 School of Management and Information Sciences, Tama University
2 多摩大学経営情報学部 School of Management and Information Sciences, Tama University
3 多摩大学経営情報学部 School of Management and Information Sciences, Tama University
4 多摩大学経営情報学部 School of Management and Information Sciences, Tama University
5 多摩大学国際交流センター事務課 School of Management and Information Sciences, International Affairs Division
6 多摩大学事務局長 Tama University
7 多摩大学附属聖ヶ丘高校 Hijirigaoka High School, Tama University

グローバルスタディーズ学部 3 名 1 年次 2(0)名・4 年次 1(1)名
 多摩大学附属聖ヶ丘中学・高等学校生徒 13 名 1 年生 6(5)名 2 年生 7(6)名
 ※日本経営者訪問団 35 名 ※多摩大学シルバーデモクラシー企画参加 4 名

5. 研修詳細日程

<経営情報学部オリエンテーション① 5 月 8 日(水)12:15～12:45>

研修プログラム概要説明(趙教授)

<経営情報学部オリエンテーション② 5 月 15 日(水)12:15～12:45>

済州フォーラム登壇者情報(趙教授)、海外旅行保険について説明(事務局)

<経営情報学部オリエンテーション③ 5 月 23 日(木)12:15～12:45>

済州漢拏(ハンラ)大学学生交流会について (趙教授) 服装、集合場所など注意事項確認(事務局)

<第 1 日目 5 月 28 日(火)>

7 時 00 分	羽田空港第 3 ターミナル 3 階出発階(Jカウンター大韓航空)に集合、チェックイン
9 時 20 分	羽田空港 KE2106 便発 → 11 時 45 分 ソウル金浦空港着
14 時 15 分	金浦空港 KE1131 便発 → 15 時 25 分 済州空港着 → 専用バス2台で済州漢拏大学へ
17 時 40 分	済州漢拏大学内ホテルレストラン 夕食会
18 時 40 分	組別に済州漢拏大学日本語学科の案内のもと学生 10 名程の各々が大学近隣 E マート、ロッテマートへのショッピング & ブラ街の案内と交流(コーヒーショップ等)

<第 2 日目 5 月 29 日(水)>

9 時 30 分	ホテルチェックアウト、大学ホール集合(金湖世界教育館 A 棟 1 階)へ移動
10 時 00 分～12 時 20 分	日韓学生交流会(済州漢拏大学副総長挨拶、学生の文化発表(若者文化事情や歌・踊り等の文化パフォーマンス、記念写真)12 時 20 分に専用バス 2 台で出発
12 時 35 分～13 時 30 分	韓食レストラン(ユッケビビンバ、冷麺、カルビクッパ専門店)で昼食
14 時 20 分	YOU&US HOTEL 到着、チェックイン→済州国際会議場(ICC)バス移動
14 時 50 分	済州国際会議場到着(ICC)到着 → 受付登録 → ID 名札・資料冊子等を受け取る
15 時 20 分～16 時 40 分	セッション参加(済州国際会議場5階 OCEAN VIEW ROOM)(日本語・韓国語・英語同時通訳)『済州4・3、過去からの省察と共存』『ウクライナとガザ戦争からみた情報失敗の米国外交』済州特別自治道主管 ムン・ジョンイン元大統領外交安保補佐官、ロバート・ガルーチ元米国核非拡散国務省特使、中野晃朝日新聞記者
17 時 40 分～18 時 40 分	特別セッション参加 (3 階 HALLA HALL)(日本語・英語・韓国語・中国語同時通訳)『平和と繁栄のための日中韓地方外交リーダーシップ』済州特別自治道主管 オ・ヨンフン済州道知事、リュウ・シャオミン中国海南省長、池田竹州沖縄県副知事
19 時 00 分～20 時 10 分	済州国際会議場 1 階で夕食
20 時 20 分～21 時 30 分	日本訪問団懇親会、福田康夫元総理激励挨拶、記念写真、経営者・学生・団長挨拶と自己紹介・名刺交換・懇親談話 (済州国際会議場 3 階 SAMDA)

<第 3 日目 5 月 30 日(木)>

8 時 50 分	ホテルロビー集合、済州国際会議場へ徒歩移動
9 時 30 分～10 時 30 分	世界リーダーセッション参観(日英韓中 同時通訳)『より良い世の中のための協力』ユ・ミョンファン元韓国外務大臣、パン・キムン前国連事務総長、福田元総理、カウ・クム・フウン ASEAN 事務総長、レベッカ・マリア APEC 事務総長
10 時 50 分～11 時 50 分	[開会式]前セッションに登壇したリーダー+アルミダ・アリシャバナ国連事務次長、イ

	ェンス・ストルテンベルグ北大西洋条約機構(NATO)事務総長・元ノルウェー総理、 フィリピン下院副議長(日英韓中 同時通訳)(5階 TANMNA HALL)
12 時 00 分～13 時 10 分	日韓学生研修交流昼食会 国際会議場宴会場(1 階 SORANG ROOM) リ・サンヒョン Google 社 Global Director 特別講演と対話
13 時 30 分 ～15 時 00 分	[100 年経営研究機構 グローバル経営セッション] (日英韓 同時通訳)『革新と成 長の DNA:グローバル市場を志すスタートアップ・新規事業 CEO の秘密』(日英韓 同時通訳)(5階 TANMNA HALL) 人間開発研究院・多摩大学主管 リ・サンヒ ョン Google 社専務、マイク・オギール UBER ASIA 代表、能作千春(株)能作代表 または [済州漢拏大学 AI(人工知能)セッション](日英韓 同時通訳)『国際協力 を通じたAI安定性標準化:グローバルスタンダードの重要性と挑戦』(3階 SAMDA) 韓国と米国 AI 分野の著名専門家(大学・企業)の発表と議論 セッション選択
15 時 20 分～16 時 50 分	[福祉セッション]『低出産・超高齢化時代:福祉パラダイム転換のための東アジア協 力方案』(日英韓中 同時通訳)(3 階 HALLA HALL) 済州道議会主管 岡檀 統計数理研究所医療健康データ科学研究センター特任准教授、ウリウイジョン中 国人民政治協商会議全国委員会委員・東中国師範大学教授、韓国・スウェーデン識者
17 時 10 分～18 時 40 分	[日韓未来フォーラム]『日米韓 3 国の政治状況展開を念頭においた日韓関係の持 続的発展方向～日韓専門家ネットワークセミナー』(日韓 同時通訳)(201B室) 森 健良前日本外務省事務次官、パク・チョルヒ国立外交院長、木宮正史東京大学教授

<第4日目 5月31日(金)>

10 時 50 分～12 時 10 分	[日韓 CEO 経営セッション]『日韓 CEO 特別対談: 競争と協力を超えて 超格差リ ーダーシップを通じた持続可能な未来』千本倖生多摩大学特別招聘教授・KDDI 創業者、クォン・オヒョン元サムスン電子会長・サムスングループ副会長・ソウル大学 理事長 発表討論(日本語・韓国語同時通訳)(3 階 HALLA HALL) 司会: オ ・ジョンナム人間開発研究院会長 多摩大学・板橋倫理法人会主管
13 時 30 分～15 時 00 分	[グローバルセッション]『地方外交フォーラム: 地方の時代、地域価値向上のため の地方外交戦略』(日英韓仏語 同時通訳)(5階 OCEAN VIEW ROOM)韓国東北 アジア学会主管
15 時 20 分～16 時 00 分	済州国際平和センターに徒歩 10 分移動して 1 時間視察 ※済州国際平和セン ターは、世界平和島済州と平和に対する広報及び展示施設であり、アジア時代 における朝鮮半島の歴史的背景、平和実践事業、ビジョン等を示している
16 時 30 分～18 時 00 分	カメラアヒル(植物・花園) 観光視察
18 時 20 分～19 時 30 分	食事 炭火焼タッカルビ(鶏肉)

<第5日目 6月1日(土)>

9 時 00 分～10 時 10 分	耽羅(タムナラ)共和国(テーマパーク)視察、カン・ウヒョン代表挨拶説明
10 時 45 分～11 時 25 分	愛月海岸(名勝散策路、カフェ街、写メ遊び場)観光
11 時 55 分～12 時 40 分	ネクソン・コンピューター博物館視察
14 時 10 分	済州空港着、搭乗手続き
15 時 50 分	済州空港 KE1254 便発 → 17 時 00 分 金浦空港着(ソウル金浦経由便)
18 時 40 分	金浦空港 KE2105 便発
21 時 00 分	羽田空港着、解散

6. 済州フォーラムと研修の特徴

多摩大生の毎年度参加として9回目である今回の済州フォーラムと研修の特徴は下記の通りである。

- ・高大連携の一環として多摩大学附属聖ヶ丘高等学校から過去最多 13 名の参加があった。研修中に田村学園姉妹

校である韓国の泰安女子高等学校との懇親交流会が済州国際会議場内で別途設けられ、短期間でありながら、非常に親密な交流活動を行った。この交流会に、済州道内の韓国高校も合同参加し、さらには、フォーラム主催側のトップであるオ・ヨンフン済州道知事と済州国際会議場社長が激励の挨拶を行った。両者は、多摩大学のグローバルな交流会に対する賛辞をおくると共に、来年以降の済州島として協力を惜しまないということであった。

- ・多摩大学からは34名（経営情報学部31名、グローバルスタディーズ学部3名）の派遣となり、概ねコロナ前の水準となった。中国籍や韓国籍の留学生の参加が7名あり、日本人学生との交わりと親密さが深まり、さらには視野を広げ、多様な価値観を知る機会を獲得したと思われる。

- ・教職員の経験値と相互協力により、事前学習及びセッション間の誘導や観光施設への移動等の引率を円滑に行った。また、9回目の多摩大企画の日本セッションも参加人員の量と議論内容の質において、済州フォーラムの経済経営セッションで十分な貢献をしたと評価された。

- ・昨年に引き続き、済州漢拏大学の歓待は温かく盛大だった。済州漢拏大学の学生は日本語で発表を行い、日本語習得力の高さが伺えた。気さくな済州漢拏大学学生との交流で、異文化コミュニケーションにおける積極性の大切さを学生は感じた。2018年に済州フォーラムに参加し、これを契機に2019年に本学から済州漢拏大学へ交換留学生として派遣した卒業生が、ソウルの弘益大学大学院修士課程でマーケティングを学んでおり、研修期間中は引率通訳補助員としての役割を果たした。

- ・今年の済州フォーラムでは、アジア情勢だけでなく、ウクライナやガザ侵攻もテーマとなっており、国際連合や東南アジア諸国連合（ASEAN）、アジア太平洋経済協力（APEC）、北大西洋条約機構（NATO）などの事務局トップのセッションでは、世界平和構築に向けた合意形成のディスカッションを直に見聞き出来る得難い機会となった。

- ・「済州4・3事件」への関心が高く、歴史の負の面も風化させないことの重要性を学び、歴史から現代への警鐘を感じ取ることができた。

- ・少子高齢化について、東アジア三国が共通して持つ社会問題に対して、多摩大学生から本質を捉えた質問があり、日中韓それぞれ異なる政策を引き出した。また、グローバルセッションである『平和と繁栄のための日中韓地方外交リーダーシップ』でも、済州道知事、中国海南省長、沖縄県副知事に対して、多摩大学中国人留学生が「3つの国の島々が産業構造転換を進める際、経済中心地から離れた島に若い人材を引き付ける方法を教えていただきたい」という質問を行い（右写真）、各々から懸案政策を聞くことができ、セッションでの存在感を示した。

- ・ジェロントロジー企画として小林学部長引率の元、フォーラム参加した地域のシルバー4人も無事日程を終え、内容の充実さを満足して頂き、後日感謝の手紙も頂いた。

- ・海外渡航未経験の大学生、高校生が多く、初めての海外渡航に対して引率付きの海外研修の重要性が伺えた。セッションだけでなく、現地大学生との交流を通して、日韓関係を捉え直す契機になり、海外体験の意義を再確認した。



7. 単位取得のための学生への課題

- ・応募理由を記載したうえで、研修申込みを受け付けた。

- ・済州漢拏大学生との交流に向けて、聞きたいことをまとめておくよう指示をした。

<セッション中>

- ・「専用ノート」に引率担当教授の指示に従ってメモを作成するよう指示を行った。

<事後課題>

- ・感想文の提出(以下3点を含む、ワード形式で1,200字程度、A4一枚)
内容: ① 今回の研修で得たこと ② 研修で得たことを今後どのように生かすか。
③ 韓国のイメージが研修参加前と参加後ではどのように変わったか。
- ・写真5枚程度の提出
- ・済州平和フォーラム研修アンケート

8. 研修終了後提出の学生感想文・アンケートからの一部抜粋

1年生

参加をして得たことは2つある。1つ目は、過去の経験を知り学ぶことが大事だと言うこと。ウクライナ、ガザ戦争などの争いがおきてしまうのは、戦争の経験に学んでいないからである。2つ目は AI セッションに参加し、新たに AI 開発や社会安全に関する問題を意識したこと。研修に行く前は、日本と生活環境は変わらないと思っていた。しかし、韓国では子供のためにお金が使われているように感じた。それは、韓国が学歴社会なのと関係があるのではないかと考えた。また、買い物の際にキャッシュレス化が進んでおり、日本よりも進んでいると感じた。

1年生

初めての海外が韓国で、言語の違いに困ったが、徐々に慣れていくことが出来た。違う言語同士で話をするのは難しかったが、それでも楽しかった。それに加え、日本と食文化が異なることも、美味しく現地料理を食べながら学べた。フォーラムでは、世界を動かすには個人が行動していくことの重要性を実感した。権力者は力を持っているが、それだけでは国際的な社会問題は解決できないということである。また、海外ということで言語の壁を感じたのだが、これを解決するには、その言語の机上の勉強だけでなく、積極的に現地人と話して、勉強だけでは身につかないような表現や、言葉使いのセンスも大切であろう。

1年生

印象的な経験は、ルームメイトと生活を共にした事や、高校生や漢拏大学の学生との交流です。キム君と互いの趣味を語り合い親睦を深めることができました。日韓 CEO 経営特別対談では、KDDI 創業者の千本倅生会長による話が聞け、「リーダーに必要な素質や力」を身に着けるには「世界を歩き回り、世界のさまざまなことを体験することが大事である」ということが学べました。成功要因の一つとして様々な挑戦や体験によって、起業力や未来を予測する力を養えているからだと聞いて納得しました。研修に参加する前は、アジア情勢について詳しくは知りませんでしたが、グローバルセッションを受け、「地方外交」が環境問題の取り組みに対して熱意を持って取り組んでいる姿に感銘を受け、「グローバル」という単語の持つ意味を認識しました。

1年生

多様な側面から見た国際問題を「平和」と結び付けて行われた会議だったので、「視点が広がった」ことが自分の成長につながった。私は海外経験がなく、井の中の蛙状態であったが、様々な層の韓国・外国人と交流し、ロールモデルとなれる人物とも出会えた。起業という私の夢を熱い言葉で後押ししてくれた人物は、千本会長であり経営理念やアジアで起きる問題を解決するための方針を細かく解説し、若者に向けて「ゼロからイチを生み出す」といった名言も添えてくれたので、私にとって大きな存在ができた。また、参加前後のイメージのギャップが大きかったのは、韓国のイメージであった。親世代は当時の日韓関係の印象が根強く残っている故に、自分も影響を受けていたが、自分の目で韓国文化や現状を知り、さらには現地学生と交流したことで、以前抱えていた偏見を上書きすることができた。

2年生

漢拏大学の学生は気さくに、優しく、フランクに話しかけてくれて話しやすかったし、何より日本語が上手でした。言語の壁にぶつかることなく、何不自由なく楽しく過ごせました。私は誰とでも、たとえ国籍が違ったとしても分け隔てなく会話ができ、それを続けられるような語彙力とコミュニケーション能力を得たいと思いました。この最初の経験を活かして、社会に出ても積極的に様々な人とコミュニケーションをとっていきたいと思います。フォーラムのセッション経験は、今後の人生において非常に意味ある貴重な時間でした。また、済州平和研究センター

見学の際に、済州島の歴史と文化を深く理解することができました。さらに、日本の経営者との懇親会でも、この研修に参加しなければ聞くことのできないような、今後の人生において活用できるような多くのお話を拝聴させていただきました。私は研修に参加して本当に良かったと心の底から言いたく、来年も参加したいです。

2年生

私が得たことは大きく3つある。1つ目は国際会議への参加経験。そもそも国際会議に参加する機会がないし、国際機関の人々・有名経営者や政治家の話を聞くことができ、世界的に話題になっていることを確実に知ることができた。2つ目は英語の勉強ができたことである。TOEIC勉強をしている学生として英語でいくつかのセッションが英語で行われる国際会議は、英語の実力が向上できる最適な場である。第3に、就活時にフォーラム参加経験を生かしてみようと思う。印象的な内容・得たことを整理して面接で述べることはプラスになると思う。

2年生

自分の勉強していた韓国語が韓国でどの程度通用するのか、身をもって感じる事ができた。また、韓国人の優しさに触れることができた。多くの韓国人と会話する機会があり、自分から積極的に韓国人と韓国語で会話し、自分の伝えたいことを相手に伝え、相手の話を理解することが出来た。フォーラムでは共通して地球温暖化に関する問題や対策についてのお話が多くあった。このことから世界共通の問題として地球温暖化が重要であると知った。

2年生

様々な視点から物事を理解する重要性を学びました。日中韓の協力による平和構築や脱炭素化の取り組みの意義を学びました。これらの取り組みはエネルギー問題の解決にとどまらず、文化交流や相互理解を促進し、質の高い平和を構築する手段でもあります。成功を収めた起業家からは、挑戦を続ける姿勢と多様な視点を受け入れることの重要性を学びました。「当たり前」を見直し感謝の気持ちを持つことから始めたいと考えています。歴史や文化を深く理解することで、他者とのコミュニケーションや協力を円滑にし、社会貢献の一環として活用していきたいです。韓国企業が世界で成功を収めた背景にはアイデアの豊富さと技術の高さがあることを学び、日本も独自の特性を活かして、協力することで、より大きな成果を上げる可能性があると感じました。将来のキャリアにおいて、国際的な視野を持ち、多様な文化や価値観を受け入れる姿勢を大切にしていきたいと思います。

2年生

研修参加以前は、日韓関係は良好でないと思っていたが、セッションを聞いていると日韓の共通点は多く、関係も良好であることが知れた。共通点はどちらも戦争によって被害を受けているところだ。戦争によって被害を受けているのにも関わらず二度と戦争を起こさぬよう前を向いて走っており、互いに良い共通点を持っていると思った。日本人は韓国人が反日であり嫌われていると思っている人が多いようだが、それは以前の話であるため、この事実を少しでも多くの人に広めていきたいと思うようになった。

3年生

研修で得たことはまず、現代の世界情勢や具体的な経営論等の知識である。特に、「低出産・超高齢化時代、福祉パラダイム転換のための東アジア協力案」セッションは印象深かった。韓国と中国の若者は日本がとても好きなのだと感じた。そして現地の人は日本語をしゃべれる人が多く、福田元首相の基調講演を含めて、日本という国の存在感を実感した研修でもあった。

3年生

韓国の文化で一番驚いたのは皆が礼儀を大事にしているということで、日本も体育会系のところはかなり厳しい部分もあるが、韓国人はそれと同じくらいしっかりしていると感じた。二つ目は、各国の大企業社長と研究者、国と地域のトップが日々何を考えているのかを垣間見たということは新鮮な経験であった。

3年生

私は今まで韓国や中国が嫌いでした。日本に対して何故か厳しい国であるからです。この印象は今も変わりません。日本国としての威厳をしっかり出してほしいと思っています。しかし、実際に韓国に行ってみた感想として「楽し

すぎた」という感想を持ちました。行く前までのイメージと違いました。現地大学生や、日本から来た中国人留学生は私達に優しく接してくれ、多くの交流が生まれたと思います。また私自身は、困った事に将来やりたい事が増えてしまいました。それは韓国に住んでみたいという事です。その為に、今更ながら韓国語の勉強を始め自分のやりたい事を叶える為に再スタートを切りました。



開幕式での福田康夫日本国元総理の基調講演



多摩大学学生に激励挨拶を行う福田元総理



多摩大学生、聖ヶ丘高校生と談笑する福田元総理



多摩大学附属聖ヶ丘高校生の福田元総理との記念写真



済州漢拏(ハンラ)大学ホテル玄関前での記念写真



済州漢拏大学との学生交流会 記念写真



済州フォーラムのメイン会場である済州国際会議場
International Convention Center Jeju

탐라 B Tamna B	한라 Halla
인간개발연구원 / 타마대학교 / 100년경영연구기구 Human Development Institute / Tama University / Research Institute of Centennial Management 13:30 - 15:00 글로벌 경영 세션 Global Business Strategy Session 혁신과 성장의 DNA: 아시아 시장에서 성공하기 위한 전략 Innovation and Growth Dynamics: Strategic Imperatives for Success in Asian Markets	제주평화연구원 Jeju Peace Institute 특별세션 Special Session 외교관 라운드테이블: 평화와 번영을 위한 동반자로서의 글로벌 사우스 Ambassadors' Roundtable: The Global South as Partners for Peace and Prosperity

済州国際会議場での多摩大学主管のセッション案内ボード 『革新と成長の DNA: グローバル市場を志すスタートアップ・新規事業 CEO の秘密』



多摩大学主管の日本経営セッションの様子(質問に対し答えるマイク・オギール UBER ASIA 代表)



多摩大学セッション終了後に UBER ASIA 代表、Google 社専務と談笑する多摩大生と聖ヶ丘高校生



世界リーダー会議で発言するパン・キムン
前国連事務総長



開幕式を参観する学生



多摩大学主管『日韓 CEO 特別対談』セッション 多摩大生と記念写真 クオン・オヒョン サムスン電子元会長・ソウル大学理事長と千本倅生 KDDI 創業者



多摩大学主管セッションでクオン・オヒョン サムスン電子元会長・ソウル大学理事長に、質問する多摩大生



済州漢拏大学主管 AI セッション 記念写真 ジョン・イエシル日本語学科長、キム・ソンフン総長 川手事務局長・小林学部長



多摩大学主管『日韓 CEO 経営特別対談』セッション 学生参観様子(1)



多摩大学主管『日韓 CEO 経営特別対談』セッション 学生参観様子(2)



『日韓未来フォーラム』『日米韓3国の政治状況展開を念頭においた日韓関係の持続的発展方向～日韓専門家ネットワークセミナー』 学生参観様子



グローバルセッション 『平和と繁栄のための日中韓地方外交リーダーシップ』参観様子 バートル教授と川手事務局長



日韓学生研修交流昼食会 国際会議場宴会場
リ・サンヒョン Google 社 Global Director 特別講演と対話
記念写真



済州漢拏大学で行われた日韓学生交流会での
多摩大生の『日韓の就職活動比較』 発表



田村学園姉妹提携高校である韓国泰安女子高・聖ヶ丘高校・済州島内高校との学生交流会にオ・ヨンフン済州特別
自治道知事と済州国際会議場社長が激励の挨拶



オ・ヨンフン済州特別自治道知事、千本多摩大学特別招
聘教授、クオン・オヒョン 元サムスン電子会長
フォーラム招待VIP 懇談会



多摩大学学生、聖ヶ丘高校生、日本経営者訪問団
懇親会 様子